



MENU

1. 採血管の紹介、採血管の違い
2. 検査部への問い合わせ、再採血件数
3. 追加検査の可否について
4. 溶血・凝固・採血量不足による検査値への影響

1. 採血管の紹介、採血管の違い

検査項目に応じて、適切な採血管を使用してください。院内の代表的な採血管は電子カルテシステム「SMILE」に掲載しております（検査部）。なお、採血管一覧に注意点を記載しておりますので、ご確認の程、よろしくお願いたします。

特に注意が必要なもの（問い合わせや採血容器間違いが多いもの）は、下記の通りです。

採血管一覧 注意：掲載以外の採血管は検査科組合受付へ持ってきて下さい。

採血管	容量	成分	用途	採血管の特性	採血管の注意	採血管の注意	採血管の注意	採血管の注意	採血管の注意	採血管の注意	採血管の注意
赤血球	2.7mL	1.3mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL
緑血球	2.7mL	1.3mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL
紫血球	2.7mL	1.3mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL
黄血球	2.7mL	1.3mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL
白血球	2.7mL	1.3mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL
赤血球	2.7mL	1.3mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL
緑血球	2.7mL	1.3mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL
紫血球	2.7mL	1.3mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL
黄血球	2.7mL	1.3mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL
白血球	2.7mL	1.3mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL	2mL


電子カルテシステム「SMILE」より

特殊な採血管



HANP

便の採取時は用途の応じて
容器を選択してください



便潜血 委託検査 細菌検査
(滅菌容器)



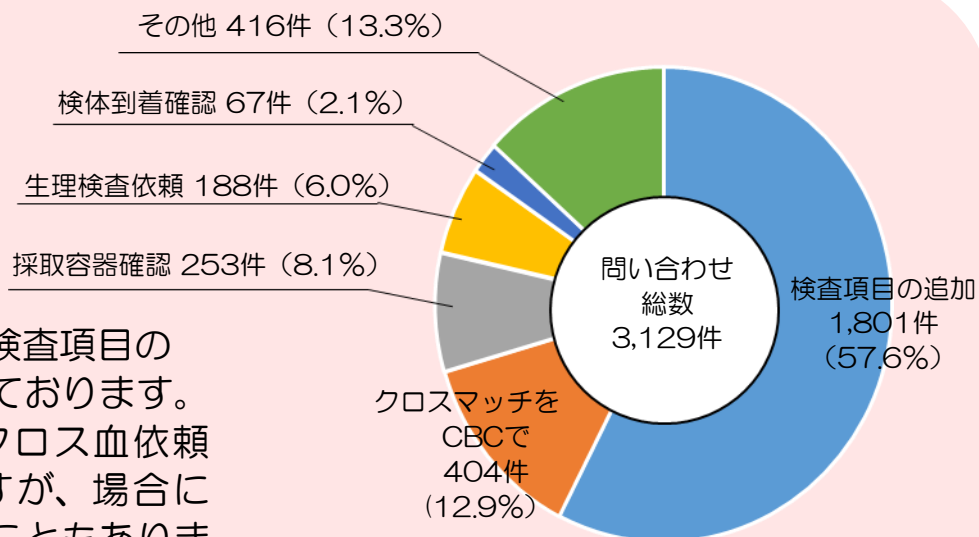
委託検査室にあります

お問い合わせ：検査部 副部長 遠藤 内線：36350

2. 検査部への問い合わせ、再採血件数

よくある問い合わせと内訳

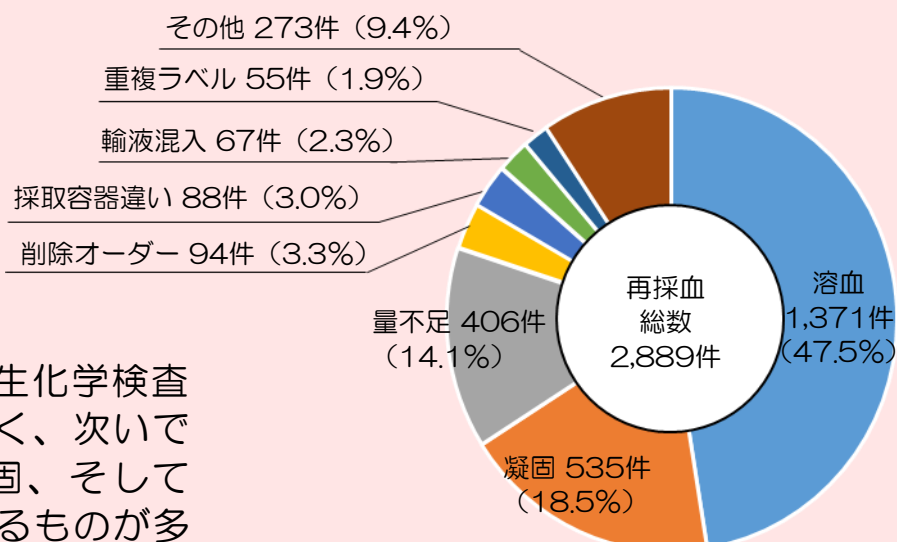
問い合わせ内容は、検査項目の追加依頼が半数を占めております。また、CBC検体でのクロス血依頼も多くなっておりませんが、場合によっては使用できないこともありますので、輸血検査室までお問い合わせください。



集計期間：2023年1月～2023年12月

再採血件数と割合

再採血依頼は、主に生化学検査の溶血によるものが多く、次いでCBCや凝固検体の凝固、そして凝固検査の量不足によるものが多くなっているため、採血後のすみやかな転倒混和を宜しく願います。



集計期間：2023年1月～2023年12月

お問い合わせ：検査部 副部長 遠藤 内線：36350

3. 追加検査の可否について

追加検査の可否について問い合わせが多い項目を一部抜粋しました。残余検体で追加検査をご希望の際は該当する検査室にお問い合わせください。

追加可能の例	追加不可の例
生化学	
スクリーニング、 TP、ALB、など 血糖、HbA1cなど	鶯：ヘパリン Li 黄：凝固促進剤 灰：NaF
	アンモニア 薄紫：EDTA-2Kのみ可 ※時間経過とともに アンモニアが上昇するため
免疫学的検査	
CEA、FER、FT3、 NT-proBNPなど ACTH NSE	鶯：ヘパリン Li 黄：凝固促進剤 紫：EDTA-2K 黄：凝固促進剤
	HBs抗原、HCV抗体、 HIV抗原・抗体など 黄：凝固促進剤 ※コンタミネーションの 可能性があるため
血液・凝固一般検査	
PT、APTTなど	青色：クエン酸Na
	赤沈 黒：クエン酸Na ※専用採血管のため
微生物関連検査	
	B-Dグルカン 赤：専用採血管 ※専用採血管のため

保管条件と残量を確認し、可能であれば追加検査に対応します。
 電子カルテに追加検査項目をオーダーしてください。
 追加でオーダーする際は、該当する検査ラベルのみを提出してください。

4. 溶血・凝固・採血量不足による検査値への影響

下記の場合は検査値に影響を及ぼすため、再採血を依頼することがあります。

溶血～採血管内で赤血球が壊れています！

様々な検査値に影響

偽高値 ↑↑ - LD、K、AST、NSE など

偽低値 ↓↓ - ACTH、BNP、インスリン など

採血時の注意点

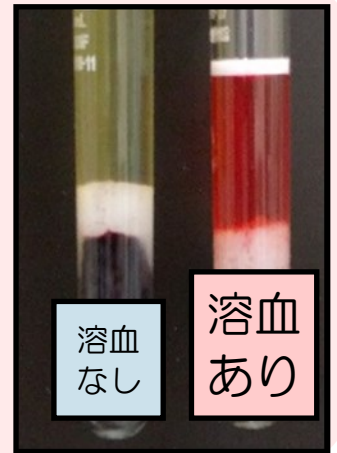
皮膚消毒後、十分乾燥してから穿刺を行う

23Gより細い針は極力使用しない

採血管には規定量の血液を採取、分注する

血液を泡立てない（優しく転倒混和する）

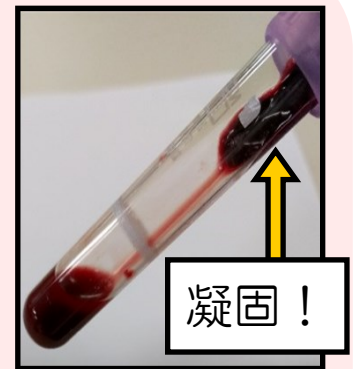
標準採血法ガイドライン GP4-A3



検体凝固～採血管内で血液が凝固しています！

凝固・線溶、赤沈、CBC、HbA1cなどの検査値に影響

例	凝固なし	凝固あり
血小板 ($\times 10^3/\mu\text{L}$)	220	8 ↓低下



採血時の注意点

採血後しっかりと転倒混和する

採血は速やかに行う（時間を要すると凝固しやすくなる）

標準採血法ガイドライン GP4-A3

採血量不足～凝固・線溶と赤沈検査は規定量の採血を！

凝固・線溶、赤沈などの検査値に影響

例	規定量採血	採血量少ない
PT (秒)	12.6	13.2 ↑延長
APTT (秒)	29.5	44.3 ↑延長
Fbg (mg/dL)	400	290 ↓低下

採血時の注意点

規定量採血の順守をお願いします

規定量の目安は右図を参照してください



お問い合わせ：生化学検査室 内線36430、血液検査室 内線36440

広報委員：大場騰、山田暁、小野真弓、米澤裕香、佐藤勇樹、及川真依、三浦早貴